

お西さん

2000
3-4



函館・啄木小公園

羅針盤

旅立ちには目的がある。旅人は目的に向かつて、早くとも遅くとも進む。その彼方が、観光であれ故郷であれ、ひたすら歩きつづける。旅に目的がなければ単なる「さすらい」でしかない。

世界に誇る客船が進水した。それから年月をかけて装備がほどこされて、いよいよ素晴らしい豪華客船が完成した。キャビンは、どこにもまして華美を極め、そして施設も、プールあり、ホールあり、より強力なエンジンも完備された。船長も、機関士も、コックさんも乗船する。

さあ 船出である——が
これだけでは、大海原への航海は不可能である。
何かが足りない。

何が？ それは羅針盤である！

羅針盤がなければ、目的に向かつて安心した航海はできない。なぜならこの船の位置、方角が解らなければ、この船は、さまよいの航海でしかない。

私の人生の旅に、もっとも必要なものは、船と同じように羅針盤である。

私が、「どこに？」「何に向かつて？」「誰と？」いつも問いかける羅針盤！羅針盤とは親鸞聖人の問いかけでもある。

輪番 鷺山 諦住

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ようこそ常例布教へ

三月の法話

空知北組 光明寺
三栗 顕曜氏

この度、ご縁をいただきまして、三月の常例法座に出講させていただきましたことになりました。三栗顕曜と申す者でございます。所属寺は滝川市江部乙町の光明寺でございます。私はその寺の次男坊として生を受けたのでありますが、早くから寺を出、小学校教員として定年まで勤めさせていただきました。現在は北広島市に在住しております。

考えると、考えるところがありまして、中央仏教学院の通信教育を基礎に布教使にさせていただき、現在に至っております。

御当地は御熱心な御同行の方々の多々お集まりの地と聞いております。そのような御地での法座で、なにをお話ししても、先刻ご承知の事柄ばかりということになります。蓮如上人も「ひとつことをいくたび聴聞申すとも、めづらしく初めたるやうにあるべきなり。」(御一代記聞書 末)と申されておりますので、すでに十分御領解なされていることとは存じますが、「正信偈」の依経段によってお話しさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

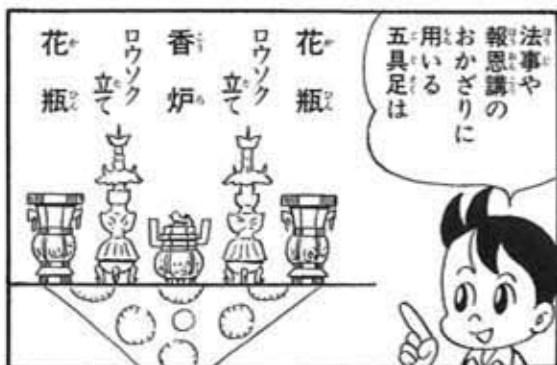
四月の法話

空知北組 竜泉寺
寺垣 信晃氏

この度、四月の函館別院様の常例法座にご縁を戴く事になりました。空知北組・竜泉寺・寺垣信晃と申します。初めてご縁を頂く事で御座います。私の住んでいる所は、北竜町と言う町で、空知管内でも一番目に人口の少ない町です。主にお米を作っております。最近では「ヒマワリの迷路」で有名です。この度のご縁で、私がお取り次ぎさせて頂きたい事は、「本願に出遇う人生」と言うテーマでお話しをしたいと存じます。

御開山親鸞聖人様が七百五十年もの時を越えて私達にお勧めを下さいました「他力の信心・他力の念仏」を出来るだけ平易な言葉で話させて頂きたいと思っております。何かと多用とは存じますが、どうぞお誘い併せてお気軽にお参り御聴聞下されば幸いです。四月と言えば、入学・進学・入社など、出会いと別れの交錯する季節でもあります。「人生は、出会いと別れの連続である。」と言いますが、そんな中でこの私が「本願に出遇う」とはどう言うことなのか。皆さんと共に味あわせて頂きたいと思っております。

マンガ仏事入門〈仏具の巻〉



Q&A コーナー

教えてお寺さん!
ご門徒さんのご質問に
お答えします

Q

最近お寺やお墓参りにいくと供物を持って帰るように書いてありますが、すぐ下げると、ご先祖様が食べられないのではないですか?

A

せっかく上げた供物ですから置いて帰りたい、召し上がって頂きたい、というお気持ちは分かりますが、本来お供物とは御先祖の御縁で今、生きている我々が「お下がり」として、頂く事が望ましいものです。「私」が供物を買ひ、墓前や納骨堂にお供えしますが、上げた時点でそのお供物はどちらに向いているのでしょうか? そうです。上げた時点でそのお華や供物は、此方を向いています。御自宅の仏壇のお供物は傷むまで置いておかないのと一緒でいい内に家族みんなで仏さまからのお下がりとして頂いて下さい。又、暑い日には、置いたままのお供物は傷みも激しくそこへ蜂や蟻、時にはキツネやカラスまでが群がり、見るも無惨な光景となります。さらに、傷んだ果物の汁や溢れたお酒の糖分が墓石に染みを残したりします。みんなで気持ち良くお参り出来ますようご協力下さい。

◎ 壮年会通信 ◎



を整えてから始まった会は、飲み物も追加するほどに盛り上がり、最後には全員でゲームをしながら会員同士の親睦を深めました。お寺の壮年会ですので、堅いイメージを持たれるかと思いますが、勉強会あり、懇親会ありと大変楽しい会です。興味をもたれた方は是非一度見学に来て下さい。

さる一月、壮年会の新年会がありました。壮年会会員十四名の参加を頂き、別院職員と和やかに開催されました。会員の東野さんに頂いた栄養ドリンクでまず体調を整えてから始まった会は、飲み物も追加するほどに盛り上がり、最後には全員でゲームをしながら会員同士の親睦を深めました。お寺の壮年会ですので、堅いイメージを持たれるかと思いますが、勉強会あり、懇親会ありと大変楽しい会です。興味をもたれた方は是非一度見学に来て下さい。

◎ 婦人会通信 ◎



きました。短時間のご法話でしたが、琴線にふれた感動のひと時でした。引き続き文化会館に座を移して、懇親会が催されました。朗々たる「早春賦」のコーラスで幕を開け、カラオケの歌声が流れる中、相互交流が深められました。くじ引きでは、真剣勝負の意気込みでジャンケンに臨み、賑やかな笑い声がホールに響いて、終始和やかに会が進められました。この間御輪番から二十世紀に向けての別院の展望が披露され、別院の運営方針と方向を二にする婦人会から、大きな期待が寄せられました。

心づくしの甘酒やお料理を賞味し、名残の尽きない中、「今日の日はさよなら」を全員で合唱し、新しい年も元気で集い合うことを約束してお別れしました。「また出来るだけ出かけてきます」という全員の方からのお言葉は婦人会活動への力強いご支援でした。

年頭に当たり、別院のご発展と皆様のご多幸を念じ申し上げ、新年会の一端を記させて頂きました。

本間温子



一月二十三日、午後二時から三時半までの日程で、婦人会新年会が開催されました。鷺山御輪番ご導師により、婦人会一同で讃佛偈をお勤めした後、「供養」という事について輪番法話を頂きました。「供養」とは「供に養うこと」とのお話の中で、御輪番ご自身の体験を交えて「供養」の真の意味を説いて下さいました。今は亡き父母、祖父母、そして多くの先人が今現在を生きる私達に掛け続けている願い、そのたゆまぬ一筋の願いは、迷走しがちな私達に生きる道しるべを示し、生き抜く力を沸々と沸き立たせてくれる大きな存在でした。往相と還相の呼応融合の世界が、まさに「供養の世界」と味わわせて頂きました。



「あじわい」

堀川町にお住まいの河内さん、去年の暮れころに「又お漬物を漬ければね。」と、お伺いしたときに話されており、二月にお参りにうかがったとき、「ちょうどいいころだから」と、袋に詰めてくださいました。私の実家では、必ずと云つていくらい食事のときにはお漬物がおいてありましたが、北海道に来てからは、お漬物を食べる機会が少し減った気がしてさみしい思いがします。

河内さんから、いただいたお漬物を家に持って帰り、家族でいただいたとき、やっぱり買ってきたものと違うね、その家その家のいい味があるね、これが親の味でおふくろの味かな——と夕食を取りながら話していました。インスタント食品や、パック詰め、袋詰めが多い中あらためてヒトの手の味を感じさせていただきました。

（ちこそつさまでした。）

（神田）

「何が墓参りをさせるの」

昨年三月二十一日夜半から朝にかけて、三月としては四十二年ぶりの記録的な雪が降った。

前日までに、ほとんどの雪が溶けて無くなっていたところへの大雪。場所によっては「メートルを越え、函館市民もビックリ。とにかく朝の勤行をつとめた後、境内の除雪作業。あわせて月忌参りの休止を、ご門徒宅へ電話でお知らせした。やはり、ご門徒宅のあたりも、かな

りの積雪があるようなご返事であった。

二十二日は台町にある常和台の当番となっていたので山へ登って行った。

駐車場の除雪作業をしているとき、斎場への行き来をする車が何台となく走って行った。それを見て「人生は無常なり」と思ったことだった。

また、除雪の道具をもって墓参りに来られる家族も何組かあった。それを見て、この雪の中、今日来なければならぬ家族もあるのだと思った。

そんな時、ある方が墓前で読経を申し出られたので、除雪スタイルから僧侶スタイルに（但し、雪駄ではなく長靴）早変わりして、スコップ片手に後を追った。長靴の意味もないほどの雪の中、息を切らせながら、前進前進また前進。私は除雪しながらの前進なのに、その人たちは除雪もせずに前進していた。読経を終えて常和台に戻ってから、この大雪の中、あの人たちに墓参りさせるのは、何なのだろうと考えてしまった。

（野川）

「親のありがたさ」

今回は日吉二丁目の石澤さんをご紹介させていただきます。石澤さんは、ご主人様を亡くされてから一人で暮らされているのですが、お正月とお盆になりますと、必ず遠方より息子さんと娘さんのご家族がいらつしゃつてとてもにぎやかになります。今年のお正月もやはり皆さんがいらつしゃつて、一緒にお参りをさせていただきました。私も久しぶりに皆さんにお会いできるととても楽しい時間を頂いています。

しかし次の月参りにお伺いしますと、石澤さんが「みんないっぺんに帰るから急に寂しくなるんですよ。」とおっしゃるのを聞きしますと、私自身胸が痛くなります。実は、私はもう二年位自分の家に帰っていないのです。きっと私の両親も、私になかなか会えないので寂し

く思っていることとされます。そして、いつも電話などで私の事を気に掛けてくれている両親の事を思うと、ありがたくてしょうがありません。遠くにいてもいつも思っている親心。石澤さんを見てみると本当にありがたいものを思い出させて頂いた気がしました。

（石黒）

「子や孫へ」

私が函館へ参りましてから、早、三ヶ月が経ちました。月日の経つのは本当に早いものです。このころでは、ようやく自分が担当させていただく御門徒さんの顔と名前を覚えてまいりましたので、この場を借りて紹介させていただきます。

本町の中村さんのお宅では、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、三才になるお孫さんがいつもお参りしてくださいます。中村さんがおっしゃられるには、普段、本町の家は空いているのだが、命日には家族がその家に集まってお参りされているそうです。見様見まねで小さい手を合わせお念仏する姿は、本当にほほ笑ましいものです。「念仏の声を世界へ、子や孫へ」という、本願寺のスピーカーがあります。中村さん一家の姿にふれさせていただいて、命日を縁としてまさにお念仏の相続が行われているのだな、と、嬉しく思ったことでした。

（石神）

「生命の地球」

毛利衛さんの乗ったスペースシャトル・エンデバーから見た地球の映像を先日、テレビで見ました。他の星に比べるとちっぽけな星ですが青く輝く地球という美しい「生命の星」を見たとき、この美しい一つの星にも飽食が当たり前の国もあれば、飢餓に苦しみ、その日その日をなんとか生きていくしかない国もあることを忘れてはならないと思いました。

宮前町の新山さんのお宅に伺った時、御主人様が「今

年の二月・二月の天候は戦後初めての「ことだ」とおっしゃっておりました。たしかに今年の冬は雪も少なく寒さもそれほど厳しくもなく、私達にとっては、とても楽な冬でした。しかし一月に雪が降っても雨で溶けてしまったり、二月になっても雪がさほど積もらなかったり、やはり異常気象のような気がします。

この美しい「地球」という生命の源である星をより美しく大切にすることも、異常気象をつくりだし生命の危機をつくり出すのも私達人間なのだなぁと、つくづく思うことでした。

(吉村)

【ひやしきの中】

鍛冶二丁目にお住まいの松田さんのお宅には、毎月十七日にお参りしています。十七日は、月忌参りの件数が多く、なかなかゆつくりとできないのですが、先日お正月参りに伺った時、時間がありましたのでお勤めの後、一緒にお茶を頂きました。その時御文章のこととか、京都の大谷本廟のこととか、色々質問を頂きました。「普段はお忙しいみたいでなかなか質問をする機会がなかったけど、今日聞くことができて本当に良かったです。」と松田さんはおっしゃってくれました。

松田さん、なかなかゆつくりすることができなくて本当にすみません。でもこれからも分からない事がありましたら、何でも尋ねてください。

赤川二丁目にお住まいの佐紺さんは、最近別院の御門徒さんになられた方です。佐紺さんは、月参りだけでなく、足を運んでお寺にもお参りしたいとおっしゃってくれました。佐紺さん、ぜひぜひお参りして下さい。三月はお彼岸もありますし、四月以降も色々行事や法要がございます。その時には、ぜひ足を運んでお参りして下さい。でも、佐紺さんのお宅から別院は遠いですから、事故には気を付けて下さい。

(山岸)

【団らの場】

今年の冬は、例年と比べて雪も少なく過ごしやす季節でした。しかしながら油断していると三月にも突然の大雪に覆われてしまうそうですね。さて、こんな冬の時期に皆さんのお宅にお参りに行って気付かされた事があります。それは、部屋に「こたつ」が見当たらないということ。雪国の北海道においてストーブと、こたつが「セット」で部屋にあつて初めて、当たり前のように生活していくものと思っていました。「ストーブだけで充分に部屋全体が暖まり、こたつなんて必要ないんだよ」とおっしゃる言葉にそれもさうだなぁと納得しました。

と同時に少しばかり寂しさも感じました。それは、こたつは「家族団らの場」として幼い頃から過ごしてきたから。こたつを開んでみんなでみかんを食べたり、双六などのゲームをしたり、時には家族同士なのにこたつの中でお互いの足が当たらないように遠慮しあったり、そこにいろんなドラマがありました。

先日、大手町の広部さんのお宅でいろいろお話をしていると、「田舎の両親は、風邪をひいていないか、ちゃんと食べているのかいつも心配されているでしょうね。たとえそれが何歳になっても子供供って心配なものなんですよ。」と親の気持ちになって、親のありがたさを教えてくれます。そして次第に現代の親子のあい方についての話になりました。現代の子供は、家族で一緒に食事をして食べて終るとすぐに自分の部屋に入ってしまう、自分の子供が何に興味を持ち、どんな友達と遊んでいるのか、その友達の名前さえ知らない親がいます。ましてや部屋には鍵がついていて、自分専用の電話やテレビさえあります。

現代において家族の形態は変化しつつありますが、親子の関係というものは、いつの時代にも変わっていくことはありません。こんな時代にあっても努力したり工夫したりして、お互いの心が打ち解けあえる「団らの場」が必ず必要なんだと強く感じました。

(野田)

【背中】

谷地頭の平向さん宅では、いつも伺いしてもなぜか、気持ちよく迎えられる、気持ちよく送り出してくれる気がします。「何か武道でもされてましたか？」と聞きますと案の定、剣道をしていたとの事。なるほど、胸を張り、あごを引き、肩の力を抜いた姿勢のよさは凛と空気にさせられます。ある先生は「お寺さんは背中が一番皆に見られる所だから姿勢は常に気をつけなさい」とおっしゃってました。私の背中は平向さんのような気持ちの良い背中だったでしょうか？

(高倉)

乙女のつぶやき《事務員日記》

春が待ち遠しいこの季節
街中のバスTELカラーが目を引きまします。
年度変わりで心機一転の方も多いいと思います。
私は…心乱れながらも…
毎日毎日が新鮮です。

(山崎)



▶▶ 春季彼岸会 ◀◀

18日[土] 台町(常和台)彼岸会
◆昼一時三十分より

◎法話
鷺山諦住輪番

19日[日] 本院彼岸会
◆晨朝/朝七時より
20日[月] ◆逮夜/昼一時三十分より
21日[火]

◎布教使
京都教区 城南組 長樂寺
川端照海氏

※本院納骨堂及び台町墓地は、十八日(土)より二十一日(火)までお勤め致します。

*二十日[月](御中日)は本院にてラムネと団子をご用意しています。どうぞ御利用下さい。

中央仏教学院公開講座のご案内

日時 3月8日(水)
午後1時より午後2時30分

内容/浄土真宗について(伝道)

講師/清岡隆文氏
(中央仏教学院講師)

会場 西別院文化会館

※この御縁に、日頃抱かれておられる疑問や不審などについて、ご講師に直接伺っていただければと思います。ぜひご参加下さい。

仏教に学ぶ会のご案内

お坊さんが読んでいるお経を味わってみよう

浄土真宗が、よりどころとしているお経(仏説無量寿経・仏説阿弥陀経)は、お坊さんが日常的に読んでいますが、難しいものと思いませんか。

—— そうではありません。

お浄土の様子や人の様子を色々な方法で示し、人が極楽浄土へ生まれるための、因となり縁となっているものです。

会場 函館別院(西別院)

開催日 毎月28日
午後6時30分から

体験入会OK
ときどき参加OK

※お問い合わせは別院職員「仏教を学ぶ会」担当:野川まで

浄書(写経)の会受講生 大募集!

会場 別院内堂 会費 無料 教材費/別途にて(讃仏偈・重誓偈)

初回開催日 4月3日(月) 毎月第一月曜日 午前10時から正午まで

※詳しくは当院までお問い合わせ下さい

初めての方もどうぞご参加下さい

西本願寺の通信教育生 募集!

人生の地図をポケットに

気軽な感覚で好きな時間に 心勉強 そんな感じの通信教育 今、始まる新たな一歩です

●入門課程 ●学習課程 ●専修課程
目標を決めて選べる各コースがあります
詳しくは別院まで

お寺へ行こう

ようこそ常例布教へ

三月十一日(土)

職員法話

十二月(日)

空知北組

十五日(水)

光明寺

十六日(木)

親鸞大学(14時より)

四月十三日(木)

空知北組

十五日(土)

竜泉寺

十六日(日)

親鸞大学(14時より)

※四月より常例期間が変わります。
お誘い合せてお参り下さい。

土曜の会へ行こう

●三月二十五日(土)

●四月二十九日(土)

(午後一時三十分より)

会場 日吉町熊谷宅にて

お問い合わせ 0138546859

お悔やみ申し上げます

●テレフォン法話順番表●

- 2月27日(日)~ 3月 4日(土)--副輪番 ● 4月 2日(日)~ 4月 8日(土)--高 倉
- 3月 5日(日)~ 3月11日(土)--野 川 ● 4月 9日(日)~ 4月15日(土)--石 黒
- 3月12日(日)~ 3月18日(土)--野 田 ● 4月16日(日)~ 4月22日(土)--布教使
- 3月19日(日)~ 3月25日(土)--布教使 ● 4月23日(日)~ 4月29日(土)--石 神
- 3月26日(日)~ 4月 1日(土)--吉 村 ● 4月30日(日)~ 5月 6日(土)--輪 番

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

0138^{にし}27局^{にし}2424番

永代経懇志
ありがとうございました

編集後記

▼今号より「お西さん」編集の一人として加わることになりました。まだまだ手探りではありますが、皆さんに楽しく興味をもって読んで頂けるような誌面にしていきたいと思っております。感想や意見があれば気軽に御寺さんにおっしゃってください。みんなで作る「ふれあいの場」にしていきたい。三月・四月は出会いと別れの季節でもあります。一人でも多くの人と出会い、お友達になりましょう。(野田)

▼最近になって長袖のシャツと膝丈の股引を履くようになりました。自分ではまだまだ若いつもりで履かなくても大丈夫と思っていました。これが又、「暖かい」「一度履いてしまうと中々手放せなくなってしまう。春と同時に又若作りが出来るかどうか心配です。(高倉)

“生きるよろこびを親鸞聖人に学ぶ”

函館親鸞大学

◆講 師
渡辺 春龍氏

◆開講日時
毎月16日
午後2時より
※但し、7月・10月は休講

◆受講料
無料
(但し、教材費別途)



入学に
年齢・資格
性別の制限は
ありません

どなたでもお気軽に
御参加下さい。



龍谷便り



大沼ゆきまつり



「楽しかったね!!雪あそび」

晴天に恵まれた2月7日、園長先生と全国児で幼稚園のバスに乗り大沼公園で行われた雪まつりに行ってきました。久しぶりの園外保育で子ども達はワイワイ、ガヤガヤとバスの中は大騒ぎ、会場には子ども達に大人気のドラえもんやキティちゃんの雪像などがあり、一番人気はやはりピカチュウのすべり台です。

すべり台の下で園長先生に受け止めてもらい、

楽しそうに何回もすべっている子ども達の表情がとても印象に残りました。帰りのバスの中では遊び疲れて眠ってしまった子は二・三人だけで、あとはみんな「楽しかったね」「もっと遊びたかった」と元気におしゃべりしながらの帰園でした。来年もまた行こうね!!



加藤佳代先生

預かり保育

(旧ミッキークラブ) ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日 夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい

平成12年度

園児募集

強く明るくやさしさを
もつ子に育てます!!

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を
伝える宗教教育それが



龍谷幼稚園です。

願書受付中



お問い合わせは
龍谷幼稚園
☎23-0274